

6月の自然観察会

6月の観察会は「不思議な虫との出会い」をテーマに開催されました。10時開始でしたが、いつの間にか観察が始まっています。カメムシやゾウムシの仲間が次々と姿を現します。‘岩手虫の会’の伊達さんが『このカメムシはそんなに臭わないよ！ほらっ...。』と参加者に差し出すのですが・・・。次はゾウムシです。ハギの枝にしがみついて、まったく動きません。体が白



っぽく、背中にコブがあるので、‘シロコブゾウムシ’と言うそうです。一匹見つけると、次々と見つかります。『ここにもいるよ！』と子供たちは楽しそうです。散策路沿いには‘不思議な虫’がいっぱいいます。気付かないだけです。トゲの鋭い毛虫がいます。大人はみな一歩引いてしまいます。「イモムシハンドブック」によれば‘ヒオドシチョウ’の幼虫のようです。親が分かり、ちょっと一安心。今は色々な図鑑が出ています。参加者の虫を見る目が違ってきています。

カキツバタ園に来ました。何種類かのイトトンボがカキツバタのまわりを飛んだり、休んだりしています。羽化に失敗したものやクモの糸に絡まっているものもいます。自然界の厳しさを垣間見ました。と、突然雨が降ってきました。ザーと。トンボの姿がサッと消えました。すぐに雨もやみましたが、さっきまで飛び交っていたシオヤトンボやサナエトンボは見当たりません。葉っぱにしがみついている大きめのカエルがいました。‘モリアオガエル’のオスです。去年は卵塊を見つけたのですが、今年は親を見つけました。カエルの声も聞こえます。モリアオガエルだそうです。木の枝に産み付けられる卵塊は有名ですが、ここには適当な木が見当たりません。そばにアマガエルもいて、その大きさの違いが良くわかります。



10時に開始した観察会も12時を迎えています。まだまだ色々な不思議を発見できそうです。ここでも何度か観察会を実施しているのですが、そのたびに新しい‘？’が見つかります。

5～11月の第二土曜日には観察会を開催していますので、気軽にご参加ください。